

# 都道府県構想について

# 都道府県構想策定マニュアルと構想見直し

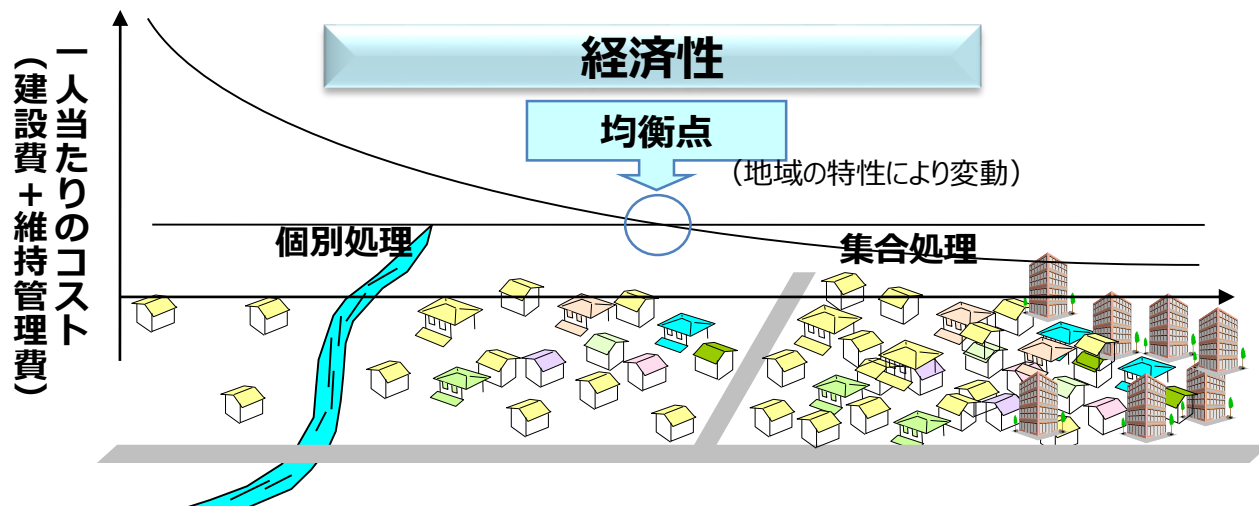
## ○概要

汚水処理施設の整備については、下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽整備事業等が実施されている。都道府県構想は、市街地、農山漁村等を含めた市区町村全域で、各種汚水処理施設の有する特性等を踏まえ、建設費と維持管理費を合わせた経済比較を基本としつつ、水質保全効果、污泥処理方法等の地域特性や地域住民の意向を考慮し効率的かつ適正な整備手法を選定するための構想として、都道府県が市町村の意見を反映した上で策定し、持続的な進捗管理と必要な見直しを行う。

- ・平成 7年の3省（現国交省・農水省・環境省）通知に基づく制度。
- ・平成26年1月に「都道府県構想策定マニュアル」を3省で策定し都道府県に通知。「早期整備」と「持続可能な運営」を目指す

## ○目的

変化していく人口減少等の社会情勢や厳しい財政事情等を踏まえ、効率的な汚水処理施設の推進について、適切な役割分担の下、計画的に実施していく。



人口密度の低い区域は個別処理（浄化槽）が効率的

人口密度の高い区域は集合処理が効率的

**早期整備（10年程度）**

今後**10年程度**を目途に汚水処理施設の整備の**概成**を目指す。

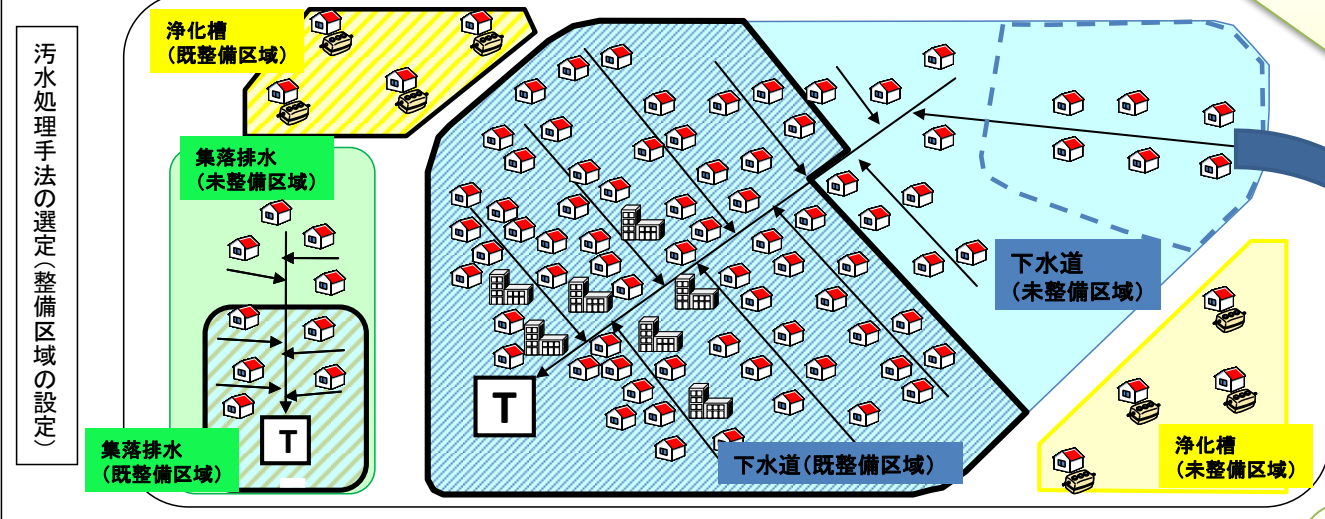
**持続可能な運営（20～30年程度）**

既整備地区の**効率的な改築・更新**や**運営管理手法**を検討。

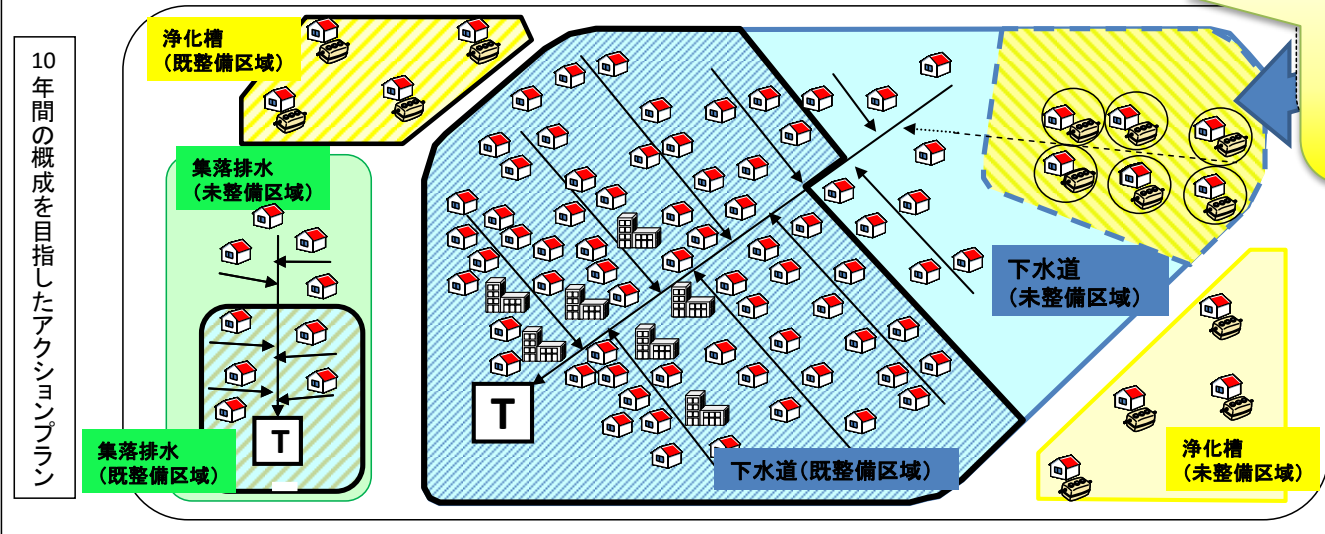
# 都道府県構想の見直しによる整備区域の見直しの一例

都道府県構想

## 污水处理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案した整備手法の選定



## 時間軸を考慮した污水处理施設の早期概成を目標とした整備計画の検討



- 整備区域の凡例
- 下水道
  - 集落排水
  - 浄化槽